

第1回碧南市文化財保護審議会 会議録

日時

令和5年5月30日（火）午前10時～午前11時15分

場所

碧南市藤井達吉現代美術館 地下1階 多目的室B

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 会長 浅井久夫、副会長 杉浦明、委員 岩田敏也、委員 伊藤利和、
委員 石川博章、委員 野村清尚
- (2) 欠席者 委員 曲田浩和
- (3) 事務局職員 教育長 生田弘幸、教育部長 岡崎康浩、文化財課長 杉浦宏真、
文化財課文化財係長 豆田誠路、文化財課学芸員 日置麻里、築山
拓磨

傍聴者 0人

議題

1 協議事項

- (1) 令和5年度事業計画（案）について（資料1～3）
- (2) 令和5年度文化財展（案）について（資料4）

2 報告事項

- (1) 令和5年度歴史系企画展の進捗状況について（資料5）

3 その他連絡事項

議事の要旨

- 1 あいさつ（生田教育長、浅井会長）
- 2 委員及び事務局職員の紹介
（生田教育長・岡崎教育部長、ここで公務のため退席）

3 協議事項

- (1) 令和5年度事業計画（案）について（資料1～3）

事務局が会議資料に基づき、令和5年度事業計画（案）について説明した。審議の結果、委員の協議内容を踏まえて進めることで了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】宮原調査員が以前「碧南の土人形」をテーマに発表したけど、そのような成果を使われるか。

【事務局】過去の土人形の成果も交えて検討する。今回の企画は、大浜のコレクターの方から土人形を寄贈されたことがきっかけである。

【A委員】宮原調査員は「碧南の土人形」の調査で奥三河や信州まで調べに行っていたようなので。以前、設楽町の道の駅したらに移転する前の奥三河郷土館に、碧南の土人形がたくさんあった。なぜ碧南の土人形が設楽など各地にあるか、なども気になる。

【A委員】文化財防火デー行事について。昨年度会場として受けられた神社の関係者から苦情を聞いた。神社では年間スケジュールを組んで進めるので、早く依頼するほうが良い。そのため今日、今年度の候補地を決めるのは良いが、今年度の上半期のうちに来年度の候補地も決めては。

【B委員】それでは、今年度の候補地を検討する。前浜地区の平等寺でやってはどうか。来年度（棚尾地区）は今年度の後半で決める方向で。

【C委員】（資料に防火訓練と文化財調査が並列して書かれているが）これは防火訓練が目的か、調査が目的か。

【事務局】あくまで防火訓練が主目的である。

【A委員】（令和3年度に）西端應仁寺で行われた際に、文化財調査の対象がないので、杉浦副会長が文化財をテーマにお話されたことがあったけど、こういう方法もあるなと思った。

【D委員】（資料2より）平等寺は平成20年度に文化財調査されているが。

【E委員】当時、放水訓練は都合が悪いといわれた。

【B委員】平等寺は『齋藤倭助物語』執筆に関わり、壁画の話題もある。第一候補は平等寺で。第二候補は次の機会に。来年度については、なるべく今年度中に決定する。

【A委員】伝統文化継承事業の補助金について、具体的にはどのように使われているか。

【事務局】昨年度はコロナ禍で活動が難しかったであろうけど、今年度は祭りも再開しそうな感じなので、その関連する事業で支出されると思う。

【A委員】私は県文化財保護指導委員をしており、文化財の巡視のなかで、民俗文

化財については、活動を観察するよういわれている。これを市に置き換えれば、活動がきちんと継承されているか確認が必要である。

(2) 令和5年度文化財展（案）について（資料4）

事務局が会議資料に基づき、令和5年度文化財展（案）について説明した。審議の結果、委員の協議内容を踏まえて進めることで了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】新指定された「西端村・高取村溜池争論裁許絵図」は、碧南市側と高浜市側で併せて2舗ある。高浜市側から借用するのも一案。

【E委員】安城市歴史博物館で「村絵図展」をされてきたので、参考にしては。

【D委員】矢作川の開削の変遷は絵図で証明できるか？

【事務局】断片的に追えるのでは。また稲垣調査員が矢作川の開削の変遷に関するパネルを作成中で、これも参考にできる。

【D委員】織田信長が（初陣で）どの道を通ったか、といったことも絵図で知りたい。

【F委員】（今回の事務局の提案では）出品数が分からず工程表が示されていない。展示には目玉を作ってもらいたいし、これまでの反省点を踏まえたものに。

【B委員】今回の絵図展は絵図だけの展示か。古絵図に限らず、矢作川の開削のパネルなど現代の地図も紹介する仕方もある。

【C委員】文化財展の取組みは大変評価している。比較的何回も紹介されているテーマの場合は、今回どう取り上げるかが課題。来館者数に限らない取組みもある。学芸員の方には頑張っていたきたい。

【A委員】明治の陸地測量図のほか、地籍図もある。しっかりみていくと身近な図なので、地元の人も興味が湧く図である。

【C委員】限られた地域だけではなく、三河や愛知県（といった広域）の地域のものも。

【B委員】何を伝えたいか、がはっきり分かるような展示になるようになれば。

【F委員】碧南市の教員（特に社会科）の方にも観覧されるように。今回もどうい
う人を対象にするか目標を立てて。

【D委員】美術館では美術館学習を実施している。教員は多忙とは思いますが。

【A委員】他市では「市史だより」を発行している。

4 報告事項

(1) 令和5年度歴史系企画展（案）について（資料5）

事務局が会議資料に基づき、令和5年度歴史系企画展（案）について報告した。報告内容について、審議会として了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】清澤満之は来訪者として、碧南にどのような影響を与えたか。伊藤証信も関係があるか。碧南に宗教的に受け入れる土壌があるのか気になっている。

【事務局】伊藤証信は満之が学監を務めた真宗大学に学び、後に西端に無我苑を開くなど、碧南と関係している。満之自身は、門徒から反発される面もあるが、『同志之友』という雑誌により地元大浜の知識人層と繋がる面もある。その両方を紹介したい。

【B委員】（関連行事の）記念対談では、「どうする満之さん！」と名付け、満之のターニングポイントを7つに纏めて紹介する。これまで西方寺住職と2回打合せしたので、報告する。

5 その他連絡事項 なし

以上